

行政評価シート(事後評価)

コード 8-1-1	事務事業名 コミュニティバス運行事業	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	-----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	交通不便地域の解消と公共施設への利便性の向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバスを運行する。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	バス事業者と協定を結び、市内5路線を運行する。バスの運行は2社のバス事業者が行なう。市はバス事業者との協定に基づき、バスの運行に係る経費と利用料金収入の差額における赤字分を補助金として補填する。運賃は1乗車につき100円である。	
事業開始時期	13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		127,490	136,407	97,122	98,303
財源: 国庫支出金・都支出金	千円	28,207	30,028	16,766	17,364
財源: 地方債					
財源: その他 ( )					
財源: 一般財源		99,283	106,379	80,356	80,939
所要人員(B)	人	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,548	6,529	6,529	6,529
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	134,038	142,936	103,651	104,832
単位当たりコスト (E)=(D)/ (年間運行本数)	千円	2	2	1	1

活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
年間運行本数	実績値	本	85,797	85,797	85,797	85,797
	実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など)						
成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一次利用者数	目標値	人		1,215,000	1,282,981	1,294,405
	実績値	人	1,234,376	1,282,981	1,294,405	
二次市民の満足度	目標値	%				
	実績値	%		53.2		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)各ルートの1年間の利用者数の合計 (二次)フォローアップ調査の市民アンケート結果からののはなバス利用経験割合						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成18年度の「はなバス」フォローアップ調査によると、はなバスは通勤、買物や通院などのための市内の移動手段として多様に利用されており、使用者の年齢構成では4割以上が60歳以上となっている。はなバスの利用者からの要望では、現状肯定型が多いが、運行時間の延長と運行本数の増加を望む声も多い。ルートの改良や新設については多様な意見が寄せられており、ルートとしては分散しているが個別の目的地や施設で見ると多数意見で望まれている箇所もある。また、ルートの改良、新設に伴うコスト負担については、現状の運賃で維持の意見が多い。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市中本市も含め22市でコミュニティバス事業は実施されている。事業の目的が各市により異なるので一概に比較はできないが、本市では5ルートを設定するなど比較的高いサービス水準である。また運賃は、22市のうち過半数の13市が1乗車100円に設定しており、本市も同額の設定をしている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	都市計画道路の進捗に応じ、路線バスルートの拡充をバス事業者に要請するとともに、はなバスのルートの見直し等を図る。

コード 8-1-1	事務事業名 コミュニティバス運行事業	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	-----------------------	--------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>はなバス全ルート合計の利用者数は昨年度に比べ若干増加しているものの、第2ルートについては、保谷駅南口再開発事業実施に伴い、駅前ロータリーへ乗り入れができないため、利用者数が減少している。</p> <p>鉄道駅への接続性を向上させ、乗車人員の増加と商店街への誘客に努める。</p> <p>はなバス運行見直し庁内検討委員会を設置し、平成18年度に実施したはなバスフォローアップ調査に基づき、民間バス事業との棲み分けを考慮しながら、ルート、運行本数及び料金設定の見直しを検証するとともに、新たに設置する予定の(仮称)西東京市地域交通会議に諮り、はなバスの更なる利便性の向上と経費節減を図る。</p> <p>都市計画道路の進捗に併せ、路線バスの拡充をバス事業者に要請していることを踏まえ、現行のはなバス路線と重複するルートについては、廃止もしくは見直しの検討を行なう必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>現在5路線と他市と比較して事業規模が大きい。この間の見直しとしては、事業内容の面ではルート延伸と時刻表改正、経費削減の面では車輛の入替えが行われている。</p> <p>しかし、平成19年度の事業採算性(運賃収入/運行経費)を22市と比較すると、武蔵野市に限らず黒字や高い値を示している団体があるのに対して本市は50%を下回っており、事業規模が大きいことから、結果的に市の負担は大きいと推測される。そのため、路線設定、運行本数といった事業内容の検証や、料金設定の見直しについて検討する必要がある。なお、昨年度の行革本部評価で指摘した広域連携について、市民の利便性、事業採算性をそれぞれ向上させる方策として検討されたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成19年度からの継続評価であるが、平成19年度に指摘した広域連携や民間バス事業との棲み分けを視野に入れた路線変更、料金設定、運行本数の見直しなど、事業採算性の向上に向けた取組は、引き続き本事業の重要課題となっている。</p> <p>これらの課題については、庁内検討や本年度設置する地域交通会議等で十分議論し、課題解決の方向性を示す必要がある。</p>